

手宮線跡地及び附属施設/小樽市



～北海道最初の鉄道～

明治15（1882）年、北海道で最初の鉄道「官営幌内鉄道」が幌内（三笠）と手宮（小樽）の間が全線開通し、石炭の輸送が開始されました。この鉄道が敷設されると、石炭輸送だけではなく、沿線に生活物資などを運び、各地に町がつくられていきました。明治末に国有化された際に、南小樽－手宮間は「手宮線」となります。1962（昭和37）年に旅客営業が廃止され、1985（昭和60）年に廃線となりました。

市内中心部には、旧国鉄手宮線で使用されていた鉄道施設を残し歴史性の保全を重視しながら素朴な風景を演出したオープンスペースや当時のレールがそのまま残されております。

住所	〒047-0031 小樽市色内1丁目9-5付近～小樽市立小樽美術館付近	
公開状況	公開	
アクセス (自動車)	札幌から約42km 約36分 【小樽自動車道 小樽IC降 約13分】	
アクセス (公共交通機関)	札幌から約45分 JR函館本線 小樽駅降車～徒歩 約12分	
問い合わせ	小樽市建設部公園緑地課 電話：0134-32-4111	小樽市産業港湾部日本遺産等担当 電話：0134-32-4111